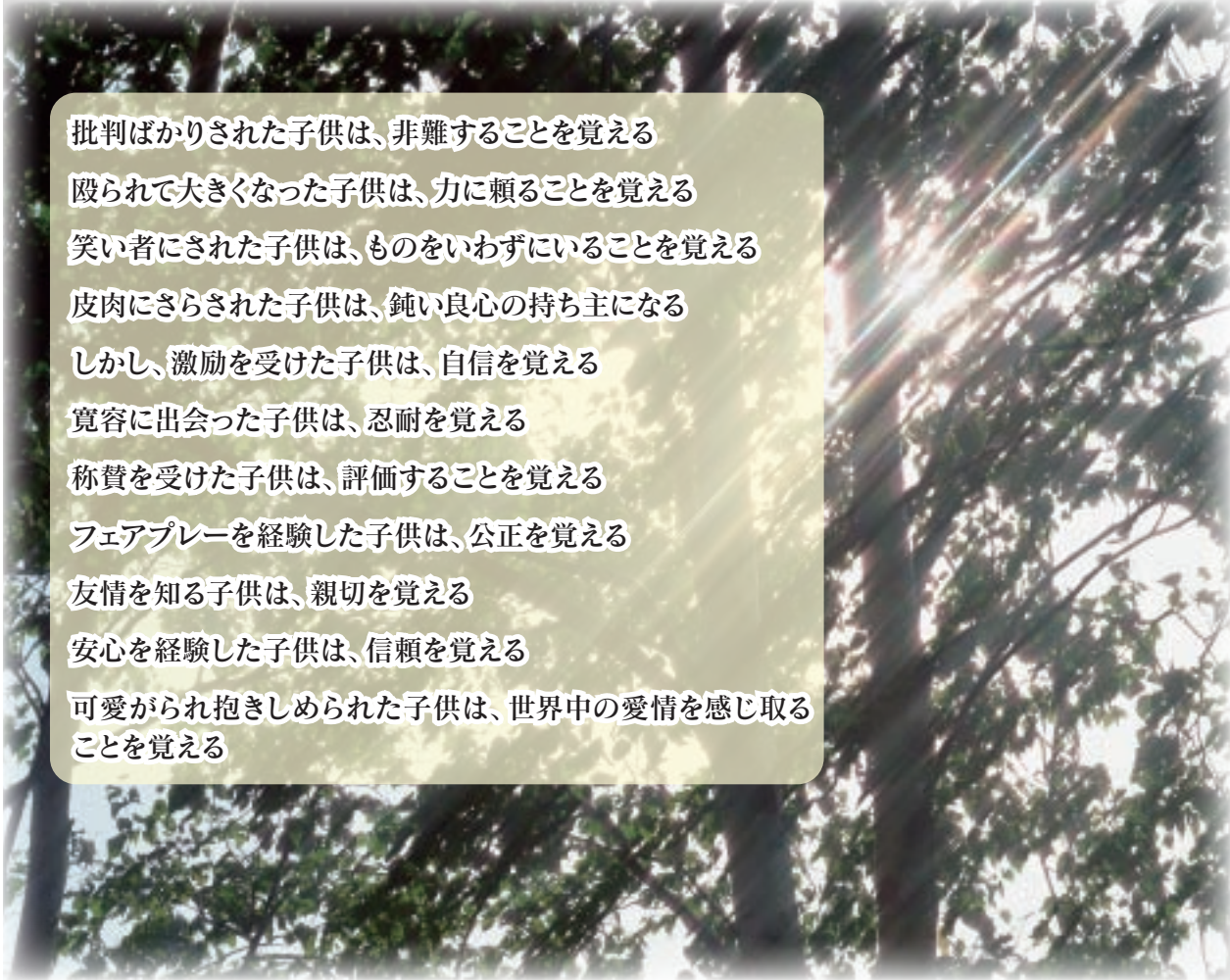


労福協 NEWS

2011.1 No.52

すべての子どもの生きる権利のために…

In order to the Rights of All Children to Live, Grow, and Develop.



批判ばかりされた子供は、非難することを覚える
殴られて大きくなった子供は、力に頼ることを覚える
笑いにされた子供は、ものをいわずにいることを覚える
皮肉にさらされた子供は、鈍い良心の持ち主になる
しかし、激励を受けた子供は、自信を覚える
寛容に出会った子供は、忍耐を覚える
称賛を受けた子供は、評価することを覚える
フェアプレーを経験した子供は、公正を覚える
友情を知る子供は、親切を覚える
安心を経験した子供は、信頼を覚える
可愛がられ抱きしめられた子供は、世界中の愛情を感じ取ることを覚える

表題：日本弁護士連合会「人権擁護大会宣言・決議」（2010/10/08）より

詩：「稲葉峯雄の遺したもの-はじめに老人ありき-」（稲葉峯雄 著，創風社出版）より

※引用元は「あなた自身の社会—スウェーデンの中学教科書」（アーネ・リンドクウィスト，ヤン・ウェステル著，川上邦夫訳，新評論）に収録されているドロシー・ロー・ノルトの詩『子ども』です。

労福協

新年のごあいさつ



徳島県労働者福祉協議会
会長 久積育郎

2011年春!明けましておめでとうございます。

人間の尊厳を求め、人々の連帯による社会の“再生”を模索する中での年明けとなりました。

今時代が私たちに求めるテーマは“絆”であろうと思います。1982年4月、マザーテレサは東京での対話の集いで、「この日本、この東京にも、たった一人ぼっちで、ほほえみ合う相手がなく暮らしている年老いた人が大勢いるのではないのでしょうか? みなさんはそのことをご存知ですか?...そこに貧困があるのです」と語りかけ、豊かな日本の中に潜む心の貧しさを鋭く見抜き、今こそ“分かち合う愛を!”と呼びかけました。それから28年経過した日本社会は“長寿大国日本”の実像が満天下に明らかとなり、孤独の中の一人暮らしという無縁社会、孤独社会が浮き彫りとなりました。

そのような時代で迎える2011年は私たち県労福協にとって“これからの10年”へ向けた新たなスタートの年であります。

ひとつは、3月5日に(社)徳島県労働福祉会館、(財)徳島県勤労者福祉ネットワークと共に「わーくウェル感謝と交流の集い」を開催し、県内労働者福祉を担う3法人の様々な活動を力強く支えていただいた多くの方々への心からの感謝とこれからの10年へ向けた“思い”をひとつに、しっかりとした交流を行いたいと思います。

二つは、生活困窮者や就労阻害要因を抱える人々たちに対する寄り添い型、伴走型の支援として政府が取り組みを開始した「パーソナル・サポート・サービス」モデル事業を本年4月から徳島県内において実施することです。ジョブサポート事業部を中心にNPOや市民団体と共に取り組んできた就労支援をさらに一歩前に押し進めて行くこととなります。

三つは、2012年の「国際協同組合年」へ向けて、わが郷土が生んだ“協同組合の父”賀川豊彦先達の「友愛・互恵・平和」の精神に基づき、「新しい公共」としての共助・共生のネットワークをしっかりと創り上げていくことです。

労働者福祉の絆を固め、貧困の連鎖、無縁社会の連鎖を断ち、人間の尊厳を第一として人々が愛を分かち合い支え合う「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」へ向かって、共に前進しましょう。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

〈労働者福祉協議会役員〉

| 役職名 | 氏名 | 所属 |
|------|--------|------------------|
| 会長 | 久積 育郎 | 徳島県労働者福祉協議会 |
| 副会長 | 藤原 学 | 四国労働金庫 |
| 〃 | 川越 敏良 | 徳島県共済生活協同組合 |
| 〃 | 小松 義明 | 日本労働組合総連合会徳島県連合会 |
| 専務理事 | 藤森 申二 | 徳島県労働者福祉協議会 |
| 理事 | 辻 博史 | 徳島県共済生活協同組合 |
| 〃 | 枋谷 旭 | 徳島県勤労者福祉ネットワーク |
| 〃 | 国見 聖 | 徳島県民間産業労働組合連合会 |
| 〃 | 小笠原 幸雄 | 徳島県高齢・退職者団体連合 |
| 〃 | 小泉 栄昭 | 全徳島建設労働組合 |
| 〃 | 古田 哲郎 | 徳島県職員生活協同組合 |
| 〃 | 梶原 樹 | 徳島県生活労働組合連合会 |
| 〃 | 齋藤 英司 | 日本労働組合総連合会徳島県連合会 |
| 〃 | 新居 良雄 | 徳島労働安全衛生センター |
| 監事 | 岡村 睦喜 | 徳島県共済生活協同組合 |
| 〃 | 元川 仁 | 四国労働金庫徳島営業本部 |

| 〈総務〉 | | | |
|-------------------------------|------------|------------------|------------------|
| 東條 恭子 | 事務局次長 | 中塚江理子 | チーフマネージャー |
| | | 福本 純 | 〃 |
| 〈ジョブサポート〉 | | | |
| ●仕事なんでも相談室・ ジョブとくしま無料職業紹介所 | | ●徳島県若者サポートステーション | 古本 文代 総括コーディネーター |
| 前田すづ子 | チーフマネージャー | 中村 光輝 | |
| 田中 研次 | | 中川 俊志 | |
| 信田 員代 | | | |
| ●とくしま就業支援センター | | ●徳島県就業援助相談室 | |
| 山田 薫 | グループマネージャー | 安藤 文恵 | |
| 〈福祉サポート〉 | | | |
| ●なのはな 居宅介護支援センター | | 村田知江美 | グループマネージャー |
| ヘルパーステーション | | 津司 真理 | チーフマネージャー |
| | | 下田 芳美 | |
| | | 松浦 人美 | |
| 〈ライフサポート〉 | | | |
| ●とくしま次世代育成支援センター | | 兼松 文子 | チーフマネージャー |

連 合

新年のごあいさつ



日本労働組合総連合会徳島県連合会
会 長 小 松 義 明

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、連合徳島の諸活動に対しましてご支援とご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

今年も、連合徳島構成組織の組合員と家族の安心と安全はもとより、全ての労働者の皆様の幸せのために全力を挙げて諸課題に取り組みます。引き続き皆様方のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

一昨年夏の総選挙では、私たちの悲願であった政権交代を果たすことができました。しかし、鳩山・菅内閣では、政治とカネ、米軍沖縄普天間基地移設問題、中国・ロシア・北朝鮮などの外交・防衛関連課題、閣僚の不適切発言や辞任など、国の統治機能に関連するとも思われる事案も発生しました。こうした問題も含めて、マスコミ各社の調査では内閣への支持率も急激に低下し、一部の報道機関では2割台となっています。政府及び民主党はこのような状況に対する危機感を共有して政権運営に当たって頂きたいものですし、一度失った国民の信頼を取り戻すのは容易なことではありません。

そのためには、一時のパフォーマンスに頼るのではなく、中長期的な視点から経済・社会のあるべき姿とそれを達成するために必要な戦略・戦術を策定し、果敢に実行する以外になく、政権交代に託した国民の期待を改めて肝に銘じるべきです。

連合は、目指すべき社会像として、2001年に発表した「労働を中心とした福祉型社会」を深化・再定義するために、昨年第11回定期大会以降、議論を重ねてまいりましたが、12月2日に開催された第59回中央委員会において、名称を「労働を中心とする福祉型社会」から「働くこと軸とする安心社会」に変更しました。趣旨等については、今後機会あるごとに申し上げますが、この社会像は決して掲げて憧れるものではなく、実現しなければ日本社会の持続可能

性はないとの認識が必要です。従って、その内容について、積極的に内外に訴えかけ、共感を広げ、浸透されていく努力と各構成組織の諸行動にも反映すべく取り組みを展開してまいります。連合は今、「希望と安心の社会づくりキャンペーン」を展開しています。政策制度実現の取り組み、全ての働く者の労働条件・処遇改善の取り組み、非正規労働に関わる社会的キャンペーン、ワンストップサービスを含む地域に根ざした労働運動の展開などです。

「働くことを軸とする安心社会」これを連合運動がめざす社会像と位置付けた上で、この1年間の「希望と安心の社会づくりキャンペーン」の基軸として、連合徳島のあらゆる運動・活動に取り入れていくこととします。

同時に、連合徳島は現下の厳しい状況において勤労者の雇用と生活を守るため、労働諸条件の取り組みと政策制度からの取り組み強化を推進していくとともに、来春の第17回統一地方選挙での推薦・支持候補者全員の勝利に全力を挙げ闘う決意と皆様方の一層のご支援・ご協力をお願いしてご挨拶とします。

〈連合徳島役員〉

| 役職名 | 氏名 | 組織名 |
|---------------|-----------|-----------------------|
| 会 長 | 小 松 義 明 | 情 報 労 連 |
| 副 会 長 | 河 村 和 男 | 電 機 連 合 |
| 〃 | 吉 田 良 一 | 電 力 総 連 |
| 〃 | 山 下 吉 生 | UIゼンセン同盟 |
| 〃 | 藤 岡 一 雄 | 自 治 労 |
| 〃 | 峰 行 一 夫 | J P 労 組 |
| 〃 | 森 本 佳 広 | 自 治 労 (県 職 労) |
| 〃 | 寺 西 稔 | 情 報 労 連 (民 間 大 手 部 会) |
| 〃 | 富 田 真 由 美 | 県 教 組 (女 性 委 員 会) |
| 〃 | 宮 本 武 司 | 交 通 労 連 (中 小 部 会) |
| 事 務 局 長 | 齋 藤 英 司 | 自 治 労 |
| 副 事 務 局 長 | 加 村 祐 志 | 自 治 労 |
| 〃 | 赤 松 邦 博 | 私 鉄 総 連 |
| 財 政 局 長 | 品 山 勝 利 | 自 動 車 総 連 |
| 中 小 対 策 本 部 長 | 平 井 敏 郎 | 運 輸 労 連 |
| 執 行 委 員 | 福 島 正 彦 | J E C 連 合 |
| 〃 | 吉 野 泰 甲 | 全 水 道 |
| 〃 | 柗 保 博 | 都 市 交 通 |
| 〃 | 濱 口 賢 一 | 基 幹 労 連 |
| 〃 | 竹 谷 公 男 | 農 協 労 連 |
| 〃 | 浦 本 健 治 | 私 鉄 総 連 |
| 〃 | 矢 藤 博 久 | J R 連 合 |
| 〃 | 小 原 伸 二 | 県 教 組 |
| 〃 | 村 上 貴 志 | フ ー ド 連 合 |
| 〃 | 平 田 信 行 | 自 動 車 総 連 |
| 〃 | 野 村 一 弘 | 国 公 総 連 |
| 〃 | 亀 岡 政 則 | J A M |
| 〃 | 吉 田 耕 造 | 全 国 一 般 |
| 〃 | 藤 田 晶 子 | UIゼンセン同盟 (女 性 委 員 会) |
| 会 計 監 査 | 西 英 二 | 全 国 労 金 |
| 〃 | 齋 藤 剛 士 | 全 労 済 |
| 〃 | 井 上 卓 | 政 労 連 |

ろうきん

新年のごあいさつ



四国労働金庫
理事長 足達秀夫

新年明けましておめでとうございます。
今年一年が皆様方にとって幸多い年であります
ようご祈念申し上げます。旧年中は四国労働金
庫の事業運営に皆様方のご理解とご支援を頂き
ありがとうございました。今年も引き続きよろ
しくお願い申し上げます。

四国労働金庫が誕生して10年が経過しまし
た。この間、2つの業務改善命令への対応や経
営改革等々多くの課題に対応してきましたし、
多くの試練を乗り越えることにより、多くの成
果も得てきたものと思っています。

2010年度の事業計画に対しては、融資面にお
いて若干の陰りはあるもののほぼ順調に推移し
てきているものと思っています。しかし、リー
マンショック以来の金融不安や景気回復の遅れ
などの影響を受けての経営の厳しさには従来以
上のものが感じられます。

今年は統合10年を記念して、お客様に“あり
がとう”という想いを込めて「10周年記念キャ
ンペーン」を実施致します。どうかご支援をお
願いします。

昨年の総会以降、会員討議を行ないながら取
り組んできました全国合併「日本労働金庫の創
設」につきましては、お約束をしました2012年
4月スタートを延期せざるを得なくなりました。
これまで監督当局の認可を得るべく折衝を
続けてきましたが、現行法（労働金庫法等）の
解釈をめぐって双方の考え方に大きな隔たりが
あり、これを解決するためには相当長い時間を
要するため、期日には間に合わないと判断を致
しました。非常に残念な事でありまして、会員
の皆様方に多大な迷惑をかける結果となりました
が、ご理解下さるようお願いいたします。

今日、金融業界は不況業種と云われていま
す。過去のように護送船団方式による行政の保
護は皆無と云わざるを得ません。生き残るの
か、撤退するのかが経営者、企業の努力いかに
かかっています。

私たちは将来に亘って会員の皆様により良い
商品提供、サービス向上に向けて総力をあげて
頑張っていく所存であります。

今年一年、皆様方の力強いご支援と暖かいご
理解・ご協力をお願い申し上げ新年のあいさつ
とさせていただきます。

| | | | |
|----------------------|--------|----------------------|--------|
| 【徳島地区選出理事・監事】 | | | |
| 常務理事 | 藤原 学 | (全水道德島水道労組) | |
| 理 事 | 藤岡 一雄 | (自治労徳島県本部) | |
| 理 事 | 峰行 一夫 | (JP 労組四国地方本部徳島連絡協議会) | |
| 理 事 | 寺西 稔 | (NTT 労組四国総支部徳島分会) | |
| 監 事 | 山下 吉生 | (UI ゼンセン同盟徳島県支部) | |
| 【徳島営業本部・営業店】 | | | |
| 本 部 長 | 郷 司 明彦 | | |
| 徳島支店長 | 佐々木 英二 | 池田支店長 | 大久保 達夫 |
| 徳島北支店長 | 大西 和彦 | 阿南支店長 | 奥田 浩次 |
| 鴨島支店長 | 米澤 伸明 | | |

全 労 済

新年のご挨拶



全労済徳島県本部

本部長 川越 敏良

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、全労済徳島県本部ならびに徳島県共済生活協同組合の運営と事業の充実・拡大に、協力団体役員・組合員の皆さまをはじめ、多くの県民の方々に多大なご支援とご協力をいただきました。

心から感謝を申し上げますとともに、この一年が皆さま方にとって飛躍の年となりますことをご祈念申し上げます。

さて、私たちを取り巻く政治・経済・社会環境を見てみますと、円高を背景とする景気の停滞と先行き不透明感とともに、政権交代による効果を十分に出し切れていない政治の混迷、社会問題化している親子の絆を喪失した暴力の多発

や凶悪犯罪の多発など、日本社会が閉塞感に打ちひしがれ、人々が自信を失っているように感じられます。

全労済も、この数年、皆さまの多大なご協力をいただきながらも、団塊の世代の退職や勤労者所得の低下などを背景にして、前年比で大幅な契約口数の減を余儀なくされ、全国的にも期首割れという厳しい事業環境におかれています。

しかしながら、2010年4月1日に地震等の備えに対応して発売した『自然災害共済大型タイプ』、掛金もお手頃な『マイカー共済』、社会保障制度の将来不安を背景とする『個人ねんきん共済』などの契約件数が伸びを示しています。

そして現在、全労済では、勤労者・組合員がこれまでの保障を見直すことによって、可処分所得を確保する生活保障設計運動(保障の見直し・診断活動)に積極的に取り組んでいます。

全労済は今後とも、組合員によって支えられ、親しまれ、信頼される生活協同組合として、組合員のための事業運営と事業拡大に努力をしてみたいと思います。

本年も皆さま方の倍旧のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

〈2010年度 県本部経営委員会 役員体制〉

| 役職名 | 氏名 | 所属団体 | 役職名 | 氏名 | 所属団体 |
|--------|--------|----------------|---------|--------|-----------------|
| 県本部長 | 川越 敏良 | 自治労徳島県本部 | 経営委員 | 高根 研治 | 日清紡績労働組合徳島支部 |
| 専務執行役員 | 岡村 睦喜 | 全労済徳島県本部 | 経営委員 | 森岡 茂 | 四国化成徳島労働組合 |
| 経営委員 | 河村 和男 | PHU脇町支部 | 経営委員 | 篠原 孝志 | 美馬市職員労働組合連合会 |
| 経営委員 | 新居 良雄 | フレッッセ | 経営委員 | 松永 勉 | 東邦テナックス労働組合徳島支部 |
| 経営委員 | 今田 恵津子 | 全国一般徳島地方労働組合 | 経営委員 | 西條 由教 | 住友林業クレスト労働組合 |
| 経営委員 | 山本 豊文 | 徳島市役所職員労働組合連合会 | 経営委員 | 濱口 賢一 | 日本電工労働組合徳島支部 |
| 経営委員 | 平井 敏郎 | 徳島通運労働組合 | 業務検査委員長 | 吉田 良一 | 四国電力労働組合徳島県本部 |
| 経営委員 | 品山 勝利 | ジエイテクト労働組合徳島支部 | 業務検査委員 | 三木 正文 | 板野町職員労働組合 |
| 経営委員 | 浦本 健治 | 徳島バス労働組合 | 業務検査委員 | 宮本 武司 | 四国高速運輸労働組合 |
| 経営委員 | 近藤 久善 | 徳島県高等学校教職員組合 | オブザーバー | 叶井 さと子 | 鳴門競艇労働組合 |
| 経営委員 | 坂本 和生 | 徳島県教職員団体連合会 | オブザーバー | 森本 佳広 | 徳島県職員連合労働組合 |
| 経営委員 | 野町 孝英 | 徳島県公立学校教職員組合 | 顧問 | 大松 長勝 | 全労済徳島県本部 |

勤労者福祉ネットワーク

2011年新春を迎えて



(財)徳島県勤労者福祉ネットワーク 理事長 土井五男

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃は、(財)徳島県勤労者福祉ネットワークの運営と事業活動に格別なるご指導・ご協力を賜り誠にありがとうございます。日本経済は、円高が進行し、輸出企業が生産拠点を海外に移し、産業の空洞化が進むのではという不安が広がっています。正規従業員の賃金削減、非正規社員のリストラ、解雇、下請負単価の切り下げ等により、コスト削減が強化されてきました。

このような社会情勢の中で、ネットワークも各事業において大変な状況もありますが、「公・労・使」三者構成からなる特性を生かし、事業活動の活性化を目指しています。

県内5ヶ所の「ファミリー・サポート・センター」事業展開のほか、未設置地域についても、県行政とともにファミリー・サポート・センター設置の働きかけにより、吉野川市・阿波市でも実施される事となり、充実をしています。

す。

徳島市の受託事業「徳島市勤労者福祉サービスセンター」はサービス内容・利便性等の改善を図った結果、会員数が10ヶ月で1,200名の入会があり、5,000名を突破する事ができました。また、サービス提供にあたっては、会員のニーズにあわせたサービスメニューを選択できるように、4つの会員制度に改めました。また、平成22年度をもって国の補助金廃止にともない、「自立化・活性化・広域化」に向けて、県内勤労者の生活総合サポート事業を目指し、各自治体への協力依頼を進めています。

生活あんしん倶楽部『くーぼん丸。』は県内約4万部を超えており、順調に利用者も定着しつつあり、普及度も上がり暮らしの安心とゆとりの実現をお手伝いするサポート事業として運営されています。

また、県からの委託を受けて、独身男女に出逢いの場を提供し、若者の出逢いを応援する「きらめき縁結び応援団育成ステーション(アワマリ)」の募集・育成・交流会の開催・情報発信を行い、仲人役となる事業所の拡大に現在奮闘しております。

中小企業サポート事業では、中退共制度、小規模企業共済制度など、中小企業を支援する制度の案内や斡旋をしており、まだまだ知名度も低いいため、事業所まわりに力を注いでおります。

混沌とした社会情勢の中で勤労者の期待に応じられる事業に向け更なる努力をいたしてまいります。また、自立化・広域化の実現には、できる限りの努力を行いますので、ご支援宜しくお願いします。

皆様にとって希望の開ける幸多き年となれることを祈り、新年のご挨拶といたします。

ネットワークのおもな事業

ファミリー・サポート・センター

「育児の応援を依頼したい」「少しは育児の応援ができる」という人が会員登録し、育児の相互援助を有料で行うものです。

- ◆徳島(徳島市・小松島市・勝浦町・佐那河内村・石井町・神山町)
◆板野東部(藍住町・北島町・松茂町・板野町)
◆阿南(阿南市)・鳴門(鳴門市)・美馬(美馬市)

緊急サポートほっとステーション

病気・急な残業・出張などの宿泊を伴うサポートなど、緊急のニーズにも対応し、育児の相互援助を有料で行うものです。

徳島市勤労者福祉サービスセンター

徳島市委託事業で、中小企業の福利厚生をお手伝いします。

徳島生活あんしん倶楽部『くーぼん丸。』

お得な割引情報と、暮らしに役立つ情報が満載です。カードを提示するだけで、1年間何回でもサービスが受けられます。

徳島市昭和町 3-35-1
Tel.088-655-2940 Fax.088-611-3323

〈(財)徳島県勤労者福祉ネットワーク役職員〉

2010年6月28日現在

Table with 6 columns: 役職名, 氏名, 所属, 理事, 近藤宏章, 徳島県商工会議所連合会会長. Rows list various board members and their affiliations.

フレッセ



2011年
年頭のご挨拶

フレッセ執行委員長

小泉 栄昭

新年明けましておめでとう

日頃は、フレッセに対しましてご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。

さて、住宅着工戸数の減少や長引く経済不況により仲間の仕事不足が続く、組織拡大が思うようにならないのが現状です。

そんな中、主な活動としては、仲間を増やす拡大月間、建設国保を守り育てる運動、特定健診の推進、仲間の仕事に関する講習会や情報提供、県民に対する耐震診断の推進事業などを行っています。

また、木工教室などで子供たちにもものづくりの楽しさを感じてもらい、無料包丁研ぎや奉仕活動をとおして地域のボランティアも行っていきます。

各自自治体との交渉も行っており、地元建設職人がおかれた厳しい実情を訴えながら、特にリ

フォーム工事に対する助成制度を要請しているところ。このことにより一定の経済効果が生まれ、仲間の仕事確保にもつながります。

今年も大変厳しい状況が続くことが予想されますが、フレッセとして県内で働く建設職人の仕事と生活を守るためにあらゆる取り組みを行っていきます。

今後ともフレッセに対しまして、皆様方のなお一層のご指導・ご協力をお願い申し上げ、年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。

〈フレッセ県本部役員名簿〉

| 役職名 | 氏名 | 出身支部 |
|--------|-------|------|
| 執行委員長 | 小泉 栄昭 | 東徳島 |
| 副執行委員長 | 大塚 均 | 白根 |
| 書記 | 稲垣 征紀 | 板野 |
| 書記次長 | 新居 良雄 | 国府 |
| 財政部長 | 岩倉 健 | 佐那河 |
| 執行委員 | 尾方 巧 | 脇内 |
| 〃 | 中敏 | 丹生 |
| 〃 | 森崎 敏 | 阿南 |
| 〃 | 秋山 威 | 那智 |
| 〃 | 相原 隆博 | 小松島 |
| 〃 | 三浦 西 | 西徳島 |
| 〃 | 佐藤 一 | 国府山 |
| 〃 | 白土 義一 | 神那河 |
| 〃 | 青山 邦正 | 正内 |
| 〃 | 笹山 正行 | 宏鳴門 |
| 〃 | 山室 邦隆 | 志大藍 |
| 〃 | 眞治 勉 | 川島 |
| 〃 | 鷹ヶ間 文 | 脇美 |
| 〃 | 青山 啓行 | 二好 |
| 〃 | 向井 祥重 | 三丹生 |
| 青年部監査 | 小大 林松 | 天二 |
| 〃 | 北島 哲夫 | 北阿 |
| 〃 | 田處 泰 | 雄阿 |

徳島県生活協同組合連合会



新年のごあいさつ

徳島県生活協同組合連合会

会長 阿部 和代

あけましておめでとうございます

2011年を迎えて、21世紀に入って生まれた子供たちも小学校の高学年になります。幸運にも20世紀と21世紀、2つの世紀にまたがって生きる私たち、この時代をせいっぱい素敵な時代にしたものです。

一昨年暮れ、国連総会で2012年を「国際協同組合年」とすることが決まりました。世界的な経済の行き詰まり、戦争や貧困、飢餓、昨年の異常気象で亡くなった人は、前年の2倍と言われていますが、地球環境の危機と今、共助協同なくしては、くらしが成り立たない状況が広がる中、協同組合にこめられた大きな期待と言ってもいいのではないのでしょうか。私たちもこの機をおおいに活かして、協同組合間の提携を強め、今後の協同組

合運動の発展に繋げていきたいと考えています。

県生協連は、教育、くらし、食、医療と幅広い分野の生協が力を合わせて県民のくらしに貢献することをめざしています。

今、日本生協連では「日本の生協の2020年ビジョン」の策定の準備を進めています。私たちも10年先の徳島を見据えて地域に貢献できる生協として存在したいと思えます。今年は、その第一歩の年となるのが出来ますよう、みんなで力を合わせて努力してまいりたいと思えます。

本年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。

〈徳島県生活協同組合連合会役員〉

| 役職名 | 氏名 | 職 場 |
|--------|--------|----------------|
| 代表理事会長 | 阿部 和代 | 生活協同組合とくしま生協 |
| 副 会 長 | 久保 修 | 徳島県学校生活協同組合 |
| 代表理事専務 | 梶原 樹 | 生活協同組合とくしま生協 |
| 理 事 | 環 滋子 | 生活協同組合コープ自然派徳島 |
| 〃 | 中村 香恵子 | 生活協同組合コープ自然派徳島 |
| 〃 | 傳住 美智子 | 徳島健康生活協同組合 |
| 〃 | 工藤 豊子 | 徳島健康生活協同組合 |
| 〃 | 古田 哲郎 | 徳島県職員生活協同組合 |
| 〃 | 清水 麻理子 | 徳島大学生生活協同組合 |
| 〃 | 井元 健二 | 牟岐東漁業協同組合 |
| 〃 | 川越 敏良 | 徳島県共済生活協同組合 |
| 〃 | 細川 尚光 | 生活協同組合とくしま生協 |
| 監 事 | 北岡 徹 | 生活協同組合コープ自然派徳島 |
| 〃 | 仙波 光明 | 徳島大学生生活協同組合 |
| 〃 | 楠藤 義朝 | 徳島健康生活協同組合 |

徳島県高齢・退職者団体連合



年頭のごあいさつ

徳島県高齢・退職者団体連合
会長 小笠原 幸雄

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、徳島高退連の活動に対し、ご支援、ご協力を頂き心より厚く御礼申し上げます。

さて、私たちは、昨年も退職者連合に結集する全国の仲間と共に「社会保障制度及び税制に関する政府要求」を政府に提出、その実現のために「国会議員要請」にも取り組んできました。

民主党政権下「後期高齢者医療制度」廃止後の、新しい医療制度創設のため、「高齢者医療制度改革会議」が発足、議論が重ねられた結果「最終とりまとめ案」が集約され、本年、招集予定の通常国会に提出される運びとなっております。

国会での審議の行方は、非常に厳しいものが予想されますが、高齢者をはじめ国民すべてが平等に、いつでも、どこでも、安心して医療が受けられ

る「新しい医療制度」の実現をめざし、組織を上げて強力に取り組みます。

4月には、統一自治体選挙が予定されております。身近で働く地方議員の立場を重要視し、連合徳島推薦候補の必勝を期し、現・退一致の活動を強めます。

労福協の益々のご発展を祈念し、高退連の活動にたいし格別のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

〈2009～2010年度役員名簿〉

| 役職名 | 氏名 | 組織名 |
|-------|--------|---------------------|
| 会長 | 小笠原 幸雄 | NTT労組退職者の会徳島支部協議会 |
| 副会長 | 宮本 剛 | UIゼンセンシニア友の会徳島支部 |
| 〃 | 澁谷 良臣 | 全日本自治体退職者会徳島本部 |
| 事務局長 | 山藤 正義 | 四国地方林野関連退職者の会徳島支部 |
| 事務局次長 | 坂尾 直也 | 徳島県労働金庫退職者の会 |
| 幹事 | 蒲生 真三 | 徳島県退職教職員協議会 |
| 〃 | 濱田 永治 | 農林水産省徳島県退職者の会 |
| 〃 | 四宮 通治 | 全日本自治体退職者会徳島本部 |
| 〃 | 湯浅 貢 | デバス労働組合高齢者退職者会 |
| 〃 | 松本 隆之 | たばこ退職者の会徳島地区連絡会 |
| 〃 | 福田 重徳 | 全日本自治体退職者会徳島本部 |
| 〃 | 川野 靖豊 | 東亜合成徳島工場OB会 |
| 〃 | 磯田 正江 | 徳島県退職女性教職員協議会 |
| 〃 | 国見 聖 | 徳島造船新来島ドック徳島工場退職者の会 |
| 〃 | 藤田 隆良 | 郵政退職者会徳島地区協議会 |
| 会計監査 | 後藤田 静子 | NTT労組退職者の会徳島支部協議会 |
| 〃 | 橋本 保子 | 徳島県退職教職員協議会 |

NPO法人 徳島労働安全衛生センター



「新年を迎えて」

NPO法人
徳島労働安全衛生センター
理事長 新居 良雄

2011年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は、NPO法人徳島労働安全衛生センターの活動に対し深いご理解とご支援を賜り誠に有り難く、厚くお礼申し上げます。

当センターは労働災害や職業病を未然に防止するため、労働者の安全と健康に関する調査、相談、教育、啓発事業、衛生管理者の育成等々の活動を展開しています。徳島県内の労働災害は減少していますが、高齢化社会への移行に産業現場の高年齢労働者の割合が急増しており、労働災害の死傷者に占める高年齢労働者(50歳以上)の割合も、増加の傾向にあり、2009年には44.3%になっています。

高年齢労働者では転倒災害が多く発生しており、転倒災害は、事故の型別労働災害発生状況にお

いて、2005年からトップの座を占めています。

高年齢勤労者については個人差があるものの、加齢に伴う心身機能の低下が現れ、これが労働災害発生要因の一つになっている。加えて仕事や職場に関する強い不安、悩みやストレスを感じている人が増える、労働者の心身にわたる健康問題も一層深刻になっています。

昨年で11回目になる「安全衛生養成講座」も実施し19名が受講され、10月30日試験の「第一種衛生管理者免許試験」には18名が受験し14名が合格され、素晴らしい成果を残しました。

本年も、労働者の安全と健康を守るため当センターの業務運営に対しまして、益々のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

〈2010年度役員〉

| 役職名 | 氏名 |
|------|-------|
| 理事長 | 新居 良雄 |
| 副理事長 | 齋藤 英司 |
| 〃 | 藤岡 一雄 |
| 〃 | 吉田 良一 |
| 〃 | 吉田 耕造 |
| 専務理事 | 赤松 邦博 |
| 理事 | 寺西 俊郎 |
| 〃 | 平井 敏生 |
| 〃 | 山下 吉夫 |
| 〃 | 峰行 一博 |
| 〃 | 柘 保博 |
| 〃 | 佐藤 陽一 |
| 〃 | 吉野 泰甲 |
| 〃 | 山下 直樹 |
| 〃 | 尾田 良明 |
| 監事 | 浦本 健治 |
| 〃 | 後藤 和昭 |

一般社団法人 徳島県就職支援機構



新年のごあいさつ

一般社団法人徳島県就職支援機構
理事長 加林 章

新年あけましておめでとうございます。

日頃は、「一般社団法人徳島県就職支援機構」の各事業に對しまして、格別のご協力とご理解を賜り熱くお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくご協力をお願いします。

徳島県労働者福祉協議会に加入しまして本年3月末で2年が終わります。本年度の事業内容も昨年の反省のもとに追加更新をした事業となりました。

雇用の悪化は、リーマンショック以来回復のきざしもなく、特に大学卒業予定者の就職内定率も平成15年の「氷河期」よりさらに悪く、「新氷河期」と呼ばれている厳しい状況であります。高校卒業予定者の内定率も同様であります。更に非正規労働者は全労働者の1/3を占め、失業者も9月末現在340万人、雇用助成金受給者110万人を合わせると450万人が失業状態と言えます。

こうした状況のなかで、当機構としましては、若年者、非正規労働者支援のために、スキルアップ事業や、再就職支援事業、新卒者、在学生に対するの職業推進事業、インターンシップ事業等、具体的事業を実効力のあるものとして取り組んでいる所存であります。

以下、当機構が平成22年度に実施致しております独自の自主事業、徳島県及び徳島市の委託事業、更に中央職業能力開発協会委託事業の具体的内容を報告します。

1. 求職者に対するの再就職支援事業

(1) 資格取得支援事業

- ① ホームヘルパー 2級養成講座
- ② 日商簿記検定2級、3級講座
- ③ パソコンMOS検定講座(WORD、EXCEL、POWER-POINT)

(2) 再就職支援事業

- ① ビジネスマナー講座
- ② 再就職支援セミナー
- ③ 職業適性検査、職業相談等

(3) 離職者に対する生活就労支援を行うため各種情報の提供

2. 新卒者に対する職業教育推進事業

(1) 社会人となるための職業教育事業

- ① 労働法規に関する講演会
- ② 就職希望者に対して企業の求める人材等の講演会
- ③ かしこい消費者になるための講演会
- ④ ビジネスマナー講演会
- ⑤ 職業体験学習(長期インターンシップ)

新しい年が明け本年の雇用状況の見通しは定かではありませんが、状況に応じてこれからも今日まで積み重ねてきました経験に工夫を加えて歩み続けたいと思います。今後ともご支援ご鞭撻をどうぞよろしくお願い致します。

〈2010年度役員〉

| 役職名 | 氏名 |
|-----|-------|
| 理事長 | 加林 章 |
| 理事 | 久積 育郎 |
| // | 川越 敏良 |
| // | 中村 昌弘 |
| // | 小松 義明 |
| 監事 | 枋 谷 旭 |

NPO法人 壮生



新年のごあいさつ

NPO法人 壮生
理事長 中村 昌宏

新年あけましておめでとうございます。

昨年は緊張度の増す国際情勢、円高と厳しい経済、雇用環境、国と地方の財政悪化、さらには所得の減少といった閉塞感と不安の漂う一年でした。また、少子高齢化の進行は加速度を増し、団塊の世代の大量リタイアがこれから現出するようになり、シニアのみならず国民の生きがい、クオリティ・オブ・ライフ(生活の質)の向上、交流と自己実現による満足度の体感といったことが大きな関心事となってきております。

こうした時、私どものNPO法人 壮生は呱呱の声を上げて丸2カ年が経過しました。輝いたシニアライフを支援するという目標実現のため、スタッフ一同、事業推進に全力を傾ける所存であります。つきましては、旧年に倍するご支援とご指導の程よろしくお願い申し上げます。

今年の干支は「兎」です。情報をキャッチする長い耳、情熱を感じさせる赤い目、そしてすばらしい跳躍力を見習いたいものです。皆さまのご多幸とご健勝をお祈りいたしまして新年のあいさつとさせていただきます。

〈2010年度役員〉

| 役職名 | 氏名 |
|------|--------|
| 理事長 | 中村 昌宏 |
| 副理事長 | 橋本 正昭 |
| 専務理事 | 坂尾 直也 |
| 理事 | 宮北 勲 |
| // | 加林 章 |
| // | 井上 みち代 |
| // | 前田 すづ子 |
| // | 村田 知江美 |
| // | 国見 聖 |
| 監事 | 松田 勲 |
| // | 清田 敏弘 |

地域労働者福祉協議会の活動

徳島中央ライフサポートセンター

新年明けましておめでとうございます。
 昨年は、徳島中央ライフサポートセンターの諸事業に格段のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当センターは昨年3月28日の設立、4月1日の事務所開設以来、地域から期待される労働福祉の拠点として、「地域住民に対する暮らしの無料相談」や「労働者福祉協議会事業への参加」など、微力ながら活動を展開しております。

振り返りますと、従来、4地区協議会（旧4地域協議会）ごとに「地域労福協」が配置され、労働者福祉運動に取り組んで参りましたが、中央地協が連合の新地協として結成されることに伴い、県労福協、全労済徳島県本部、四国労働金庫及び連合徳島の団体間協議を経て「徳島中央ライフサポートセンター」が設立されることになりました。

これからは、組織内労働者のみならず、県民、市民、地域住民との結びつきを強め、地域にねざした顔の見える運動を展開することとしており、「暮らしなんでも無料相談」や「NPOとの協同事業」などを実施して参ります。

暮らしにまつわる悩みや困りごとの相談は、人間が生活していく上で必ず発生するものであり、昨今の雇用情勢や経済状況などもあいまって益々増えてくるのではないのでしょうか。

それにつれ、ライフサポートセンターの役割、地域からの期待も大きくなっていくものと思っております。

今後とも格別のご支援、ご協力、ご指導をお願い申し上げます。

＜徳島中央ライフサポートセンター役員＞

| 役職名 | 氏名 |
|------|-------|
| 会長 | 森本佳広 |
| 副会長 | 佐々木英志 |
| 〃 | 岡村睦喜 |
| 〃 | 新居良雄 |
| 〃 | 枋谷旭 |
| 〃 | 佐藤陽一 |
| 〃 | 西條由教 |
| 〃 | 山本晃司 |
| 事務局長 | 原崎健児 |
| 理事 | 大西和彦 |
| 〃 | 米澤伸明 |
| 〃 | 鹿山順司 |
| 〃 | 桜木大介 |
| 〃 | 上原徹也 |
| 〃 | 住友伸也 |
| 〃 | 坂尾直也 |
| 会計監査 | 川口誠二 |
| 〃 | 作田龍彦 |
| 書記 | 藤原有城 |

南部労福協

新年あけましておめでとうございます。
 昨年は南部地域労働者福祉協議会の活動に対しまして、ご指導、ご鞭撻をいただき厚くお礼申し上げます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

私たち労働者を取り巻く環境は依然として厳しく、各企業の新卒採用抑制など景気低迷の長期化が雇用を直撃している。生活に「ゆとり・豊かさ」が実感できるように、更なる労働福祉の向上を進めていくために、本年度にLSCを開設してより一層地域に密着した活動を進めて行きたいと考えております。

今後とも地域、地協間の連携を高め、「労働を中心とした福祉社会」に応えるべく積極的な活動を展開して参りますので、昨年と同様にご指導・ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

◇主催業務

自然とふれあう健康ウォーク（200名）

◇協賛業務

メーカー大会（200名）

ろうきん祭り地引綱（250名）

ろうきん祭りソフトバレーボール大会（150名）

ろうきん推進委員会青年女性部交流会（80名）

本年度も引き続き四国労金阿南支店と協力し、みなさんに楽しんでいただける行事を行いたいと思ひます。

＜南部地域労働者福祉協議会役員＞

| 役職名 | 氏名 | 所属団体 |
|-------|-------|-------------------|
| 会長 | 松江剛嗣 | 自治労阿南市職労連 |
| 副会長 | 松原圭司 | J P 労組阿南分会 |
| 〃 | 久積健造 | 日本電工労組徳島支部 |
| 事務局長 | 岡久正樹 | 紙パ連合王子製紙新労働組合富岡支部 |
| 事務局次長 | 福島一郎 | 四国電力労組阿南火力支部 |
| 〃 | 谷本修司 | 倉敷紡績労組徳島支部 |
| 理事 | 福長利浩 | 紙パ連合王子製紙新労働組合富岡支部 |
| 〃 | 松村淳 | 自治労阿南市職労連 |
| 〃 | 西野史洋 | 全農林徳島分会 |
| 〃 | 湯浅悦司 | 自治労那賀町職 |
| 〃 | 宮本悟史 | 自治労海陽町職 |
| 〃 | 井坂博 | 全国一般柏涛会支部 |
| 〃 | 湯浅嘉文 | 阿南農協労組 |
| 〃 | 奥田浩次 | 四国労働金庫阿南支店 |
| 〃 | 森口芳洋 | フレッセ阿南 |
| 会計監査 | 佐野本人史 | 日本電工労組徳島支部 |
| 〃 | 藤崎真弘 | 自治労阿南市職労連 |

徳島西部ライフサポートセンター(LSC)

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は徳島西部ライフサポートセンターの活動に対しまして、ご指導ご鞭撻をいただき厚くお礼申し上げます。本年もよろしく願い申し上げます。

連合のモデル地協に選ばれ、ワンストップサービスの拠点として労働者福祉向上を目指しているLSCは、各種相談業務をはじめ、県労福協関係事業、地協や労金・全労済等の共催、協賛事業、地域貢献事業等々、ほぼ順調に推移出来ていると思います。

今年度の特徴は、ヘルパー養成講座を3講座開講したことです。1講座3カ月の日程であるため、講座にかかりきりの様な印象の一年でした。2つ目は、3月8日に労働金庫池田支店の店舗が新築オープンしたことです。手狭で老朽化していた銀座通りの店舗が栄町のフレスポ内に堂々開店しました。労働4団体の一翼であり、労働者本位の金融機関である労金は労働推進委員会や労金友の会を通して地域や労働者と親交をあたためており、LSCとは目標を一にするとこ

ろが多く繁栄をお慶び申し上げるものでございます。近い将来の日本労金構想と相まって四国の中心に新店舗が根をおろすことは、地域の発展と労働者福祉の向上をゆるぎないものに約束されたもので本当に喜ばしく、連携し育ていきたいと思っております。

◇相談業務(2010年11月30日現在/法律相談を含む)

| | | | | | | |
|-----|------|----|-------|----|-----|-----|
| 生活 | 保険金融 | 労働 | 子育て家庭 | 就職 | その他 | 合計 |
| 21件 | 13件 | 4件 | 13件 | 5件 | 4件 | 60件 |

<徳島西部ライフサポートセンター役員>

| 役職名 | 氏名 |
|------|--------|
| 会長 | 大西 茂 |
| 副会長 | 大久保 達夫 |
| 〃 | 岡村 睦喜 |
| 〃 | 新居 栄治 |
| 事務局長 | 金岡 公明 |
| 理事 | 増田 重雄 |
| 〃 | 逸見 秀夫 |
| 〃 | 高田 博之 |
| 〃 | 相原 弘志 |
| 〃 | 新居 良雄 |
| 〃 | 谷口 光春 |
| 〃 | 岩本 博文 |
| 〃 | 山川 一美 |
| 〃 | 坂口 保 |
| 〃 | 竹内 義了 |
| 〃 | 小泉 勝文 |
| 監事 | 中川 潤三 |
| 〃 | 芝本 貴美子 |

エコキャップ推進運動

環境改善への取り組みとして行っている「エコキャップ推進運動」について -中間報告-
累計ワクチン **83.8 人分**

徳島労福協では、加盟団体をはじめとする多くの方のご協力により、これまでに 67,064 個のキャップを回収し、エコキャップ推進協会へ発送いたしました。

| 発送日 | 発送数 | ポリオワクチン | CO ₂ 発生量 |
|------------|----------|---------|---------------------|
| 2008. 9. 6 | 1,600 個 | 2.0 人分 | 12.60 kg |
| 2009. 6.10 | 1,200 | 1.5 | 9.45 |
| 2009.12.25 | 22,448 | 28.1 | 176.78 |
| 2010. 3.11 | 7,656 | 9.6 | 60.29 |
| 2010. 7.24 | 14,560 | 18.2 | 114.66 |
| 2010.10.13 | 19,600 | 24.5 | 154.35 |
| 計 | 67,064 個 | 83.8 人分 | 528.1 kg |

引き続きご協力をよろしくお願いいたします。



NPO法人(内閣府認証)
エコキャップ推進協会
ECOCAP

〒231-0047 神奈川県横浜市中区羽衣町3-63 羽衣ビル2F
TEL. 045-250-0294 FAX. 045-250-0295
http://ecocap007.com

**新春お年玉
プレゼント!!**

エコ○キャップ推進運動

問題 上の○に当てはまるカタカナ1文字をお答えください。

正解者の中から抽選で30名様に

図書券 (1,000円) をプレゼントします。

応募締切日 2011年1月末日

応募方法

官製ハガキまたはFAX用紙に解答を書いて、郵送もしくは送付して下さい。その際、住所、氏名、所属を必ずお書きください。

送付先

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1
(社) 徳島県労働者福祉協議会 お年玉プレゼント係
FAX 088-625-5113 E-mail: tokushima@rofuku.net



育児日記

いずみちゃん 2歳8ヶ月
みさきちゃん 6ヶ月

◎みさきちゃんは抱き癖がついてしまい、抱っこしている状態からベッドに置いた瞬間泣き出します。

◎お姉ちゃんの方は超わがまま女で、奥さんの実家では「エリカ様」と呼ばれているそうです。でも妹の世話(と言うより邪魔)を、きちんとしてくれます。





ろうきんイメージモデル 高垣麗子

ZENROSAI NEWS

社会貢献付 エコ住宅専用 火災共済

風水害等給付金付火災共済

エコ住宅専用の保障プランができました。

地球環境にやさしいエコ住宅に住みながら、住まいの保障でも環境に貢献する。そんな保障プランが社会貢献付エコ住宅専用火災共済です。これまでの火災共済と同じ保障内容で掛金は割引に。さらに毎年の決算状況に応じて掛金の一部を全労済から環境活動団体へ寄付します。全労済はこれからも、環境活動への貢献を側面から支援していきます。

● 掛金 (年払いのみとなります)

| 住宅構造 | 木造・モルタル等 | 鉄筋コンクリート |
|-----------|----------|----------|
| 1口あたりの年掛金 | 68円 | 39円 |

※住宅・家財とも同じ掛金です。



● 加入できる住宅 (下記のエコ設備を設置し使用している住宅)

オール電化住宅の電気設備* (給湯・厨房・空調設備といった家庭内の熱源をすべて電気でまかなう住宅)

自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯器 (例 エコキュート)

太陽光発電システム

ガスコージェネレーションシステム (例 エコウィル)

潜熱回収型給湯器 (例 エコジョーズ)

● 最高保障額

通常の火災共済と同じ口数となります。

住宅: 4,000万円 (400口)
家財: 2,000万円 (200口)

■ 加入申込みに際しては、共済掛金の一部を全労済が選定する環境活動団体に寄付する旨についての同意が必要となります。

※ オール電化住宅としての電気料金の割引適用等で確認することもできます。
注) 上記設備に該当するのをご不明な場合は、全労済までお問い合わせください。

お問い合わせ

全労済 徳島県本部

(徳島県共済生活協同組合)

〒770-0942
徳島市昭和町3-35-1
労働福祉会館1F
☎088-625-2340
営業時間/9:00~17:00
(土曜・日曜・祝日を除く)

助け合いから生まれた保障の生協です。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

発行 社団法人 徳島県労働者福祉協議会

徳島市昭和町3丁目35-1 (わーくぴあ徳島内)
TEL (088) 625-8387・FAX (088) 625-5113
URL <http://tokushima.rofuku.net/>
e-mail tokushima@rofuku.net

編集・発行人 久積育郎
印刷者 (有)フォトプリント白石